



## 挑戦から生まれる感動を発表



12月9日、鶴翔高等学校（阿久根市）ビジネス系列3年生の課題研究授業の一環で開発された「シン・恐竜カレー」の試食会が行われました。

このカレーは、獅子島の恐竜の化石からヒントを得て開発された前作の「うまかサウルス恐竜カレー」を引き継ぎ、恐竜を祖先に持つとされる鶏を使ったチキンカレーで、手羽元とウズラの卵が入っていることが特徴です。

発案者の中村朱里さん（3年）は「地元食材を使いながら味にもこだわったカレーで大満足」と話しました。

## 母に教わる「言葉の引き出し」

第27回鹿児島県小学生人権作文コンテスト最優秀賞受賞



12月11日、溝口琴心さん（鷹巣小4年）が第27回鹿児島県小学生人権作文コンテストで最優秀賞を受賞したことを川添町長と田淵教育長に報告しました。作文のタイトルは「わたしの言葉の引き出し」で、自身の経験と母の言葉から、友だちとの違いを悪く捉えるのではなく、プラスに考えていく内容になっています。

琴心さんは「家族や担任の先生に相談して考え尽くした作文で、賞を取れてとてもうれしかった」と受賞の喜びを笑顔で話しました。

## 年末年始の交通事故防止 三色餅で交通安全をPR



12月12日、交通事故防止を図るため、阿久根地区交通安全協会長島支部が街頭指導キャンペーンを「年末年始の交通事故防止運動」の一環で行いました。

この日は、同会員のほか、東町漁協の職員なども参加し、午後3時から赤崎橋パーキングパークで、信号の色にちなんだ三色餅を300個配布しました。

夕暮れ前の午後4時過ぎには、交通安全への機運を高めるため、だんだん市場前の歩道に立ち、早めのライト転倒やシートベルトの全席着用を呼び掛けました。

## 長島町お宝市を開催 まだまだ使えるリユース品



12月15日、町民総合体育館でお宝市を開催し、約140人の来場者があり、569点のリユース品を新しい使用者へ引き継ぎました。

これは、11月3日に開催したリユース品回収で集まった、電化製品や古着、食器などを来場者に無料で配布しました。

パソコン机や鏡を受け取った崎口忍さん（出水市）は「欲しいと思っていた物があり、買わずに済んで良かった。有用性の高いイベントで助かる」と笑顔で話しました。